

天領

第 11 号

1986年7月



大田邇摩法人会会報

目 次

《座談会》岩崎電気株会長岩崎福市氏を訪ねて	1
税制改正の概要	4
『経済の現状と経営雑感』 <small>高嶺中興 編集 理事長</small> 奥野昌平	5
非違事例PARTX	7
ミニ税務コーナー	7
企業訪問《南小林造船所》	8
ふるさとの散歩路「大田市海岸」	10
三婦人部合同講演会「心のふれ合う接客サービス」	12
おしらせ	12
質問手帳	13
税のこぼれ話し	13
天領の秘話⑦『銀山の発見と山相秘録』	14
いざという時!!	16
囲碁おもしろ上達講座	16
第五回会員親睦ゴルフ大会開催	17
日韓親善協会!!加入のご案内	17
編集後記	17

水上の瓦

水上町の地質をつくるのは、都野津層と呼ばれる粘土鉱床。他の地域の粘土より、耐火や耐寒、そして堅牢といった点でずばぬけている。

白坏という地名が示すように、8世紀の初めに「早くも白粘土で祭器がつくられていたが、こうした粘土をめぐる歴史が沢山あるはずなのに、明治20年に国道が開通し、白坏と三久須に2つの瓦工場が出来る以前のことは「交通の不便と需要の激減で廃絶していた」とだけで何も分らない。

それでも室町時代の山城、山吹城址（銀山）から、分厚い瓦の破片が出たり、寛政12年（1800）大森大火のあと、代官所が草ぶきをやめ瓦ぶきにと奨励しているので、水上の陶業の歴史を、霧の中からかいま見る思いがする。

いま水上は瓦工業が7社（従業員500人）トンネル窯で焼成を行い、設備も自動化して、石州瓦全体の25%をしめる生産に躍進、海拔210mの、かつての奥深い山間の町は、瓦のメッカとして動いている。

（石村禎久記）

ふるさとへのアドバイス

岩崎電気株 会長
岩崎 福市氏を訪ねて

六月七日(土) 大田遡摩法人会広報委員会は、岩崎電気株会長岩崎福市氏を訪ね、お忙がしい最中、ふるさとへのアドバイスをいただくための懇談会を催しました。
以下当日の対談内容の骨子のみを記載いたします。

天領と石見銀山

【渡辺】本日は、法人会々報第十号の発刊に当り、当地方ご出身の著名な方々に「ふるさとへのアドバイス」と題した企画をたてま



岩崎 福市氏

したので、お話しを伺いたくお邪魔いたしました。

法人会の目的は、税知識の普及と経営の研究の二本柱でございます。現在当法人会は、総務・事業・広報の各委員会がございますが、

本日はその中の広報委員会として代表が来ておりますので、よろしくお願ひ致します。

【森吉】どうも本日は、お疲れのところご無理申し上げました。

【石田】私は始めてお会い致しますが、大田マルキの石田でございます。

【岩崎】岩谷さんが会長をしてお

られる会社で、代理店をされていらっしゃるんですね。

【石田】「ハイ」そうでございます。今後共宜しくお願ひいたします。

【岩崎】この会報の「天領」という名称はいいですね。

今は天領という名称は使っていないけれど、石見銀山を含めた天領地のことですね。

【森吉】そうですね。

【松井】三年前に帰郷された時、清滝へ行かれたそうですが…。

【岩崎】七〇余年ぶりに行きましたが狭い道でしたね。

【渡辺】そうですね。私も軍隊から帰った年に行きましたが狭い道でしたよ。

【森吉】今も狭い道で丸太橋もあるんですよ。

【松井】今は途中まで車で行けませんが、やはり一・五km位は歩かないといけませんね。

【岩崎】清滝も今のままではいけませんね。世の中が大分変わっていますから昔ながらの道では、行く人も少なく満足出来ないのでは無いですか。

【渡辺】やはり車でも行けるようにしないとプラスになりませんね。



【岩崎】昔のままではいけません。道路も同じです。

以前渡辺鉄夫さんが東京に來られた時、清滝に植樹をしないと、そして道もそれらしく形のあるものにしたと申し出があり、木を植えることには大賛成でしたから協力申し上げたのですが、たしか紅葉を植えられたと思います。

座談会



今は大分大きくなったでしょう。
【松井】「ハイ」今は大分大きくなっていますよ。

【岩崎】考え方によると、現代人には不向きな点もありますが、山、坂のある道もいろいろですね、今の人は、余り苦勞をしたがりませんか。
【森吉】そうですね。

【岩崎】それでね、三年前に岩谷

会長さんと痛った時、地元の人に大変歓迎されましたよ。いいことをしたなあ」と思いましたよ。

【森吉】久手港では、毎年花火大会も行っており、人出は沢山あるんですが、その割には地元金に落ちないんですね。

【松井】花火大会ですが、会長さんのおかげで通路を改良し久手町の刺鹿神社に境内まで上がれるようになり、そこで桜の木を植えましたら、桜の時期にはかなりの人出があるようになり、お宮に賽銭をあげる程度なのです。

【岩崎】それは地元の人だけを集めようとするからですよ。他市から人が来るようにしなければだめですよ。人を集める魅力作りが大切な問題だと思います。

【渡辺】大森の場合も佐波金山のように、ろう人形を作ってやったらと思いますかどうでしょう。

【岩崎】今日も市長さんにお会いしまして、石見銀山のお話しが出たんですが、石見銀山を歴史的には知って

いるが實際来て見た人は、きわめて少ないようです。魅力のある宣伝をしないとダメですね。銀山としての鉱脈は、まだ残っているという事じゃないですか。

点から線への観光産業

【渡辺】もう一つ三瓶について、どういう考えをお持ちでしょうか。
【岩崎】三瓶山だけで人を集めることは、あまり期待出来ないと思います。

石見銀山を含め、あるいは出雲大社、玉造り温泉を含めるというように大きな範囲で、計画を立てないといけないと思います。

【森吉】点じゃなく線で観光地を結ばないといけないんですね。

【岩崎】最少限県単位ですよ、そういう広範囲の観光地作りを行う事が大切だと思います。

【渡辺】三瓶にゴルフ場を作るという話がありますか。

【岩崎】ゴルフ場は良いと思います。今ゴルフブームですからね、しかし、ただゴルフ場を作れば人が集まるという安易なものではないと思います。道路網の整備も広域範囲でしなければいけない

と思います。

話しは変わりますが、出張だつて先日銅剣が出ましたがあれだつて、唯一度の新聞記事で終わらせるのはどうかと思いますよ。もう少し歴史を活かすことが大切ではないかと思ひます。そういう宣伝等を行なえば、だれだつて行つて見ようという気になると思ひますよ。

一次産業と地場産業について

【渡辺】次に大田の農業や漁業についてどう思われますか。

【岩崎】農業は大切ですね。

【奥野】島根県の農業は、鳥取県に比べて遅れていると思います。



特に島根県は、米作りが中心で、年間を通じて二、三ヶ月米作りに従事し、後は労働者として日雇いに出るのが現状です。そのへんの構造改善が必要だと思います。

【岩崎】最近では食生活も変わってきてますから、私も若いころは、こ

座談会

飯を沢山食べたんですが、今は一膳です。時にはパン食にするとか食生活だけでなく、世の中は、まだまだ変化すると思いますよ。

【奥野】農産物は、すぐ過剰生産になりましてね、ストックが出来ませんからね。

【森吉】農産物もですが、魚も一緒ではないですか。

【渡辺】瓦についてはどうですか。

【奥野】去年より立ち上がりは悪いようですが、需要は大きかったと思います。最近になってやや下向きだと思います。

【石田】昔のような林業で良いのかどうか、山はなんとか生かさな

【奥野】世界の為に、いたみ分けをしないとけない時代になっているんですね。

【渡辺】時間も大分過ぎましたので、このへんで終らせて頂きたいと思えますが、本日の内容を今一度振り返ってみますと、視光問題については、広域的な視光を考

【松井】話は変わりますが、会長もおわかりと思いますが、松喰い

【岩崎】世の中というのはゆるやかに回転しています。

【岩崎】取扱い商品は色々ありますが、だいたい七〇億〜八〇億くらいはいくと思います。現在輸出は円高の影響で大変ですよ。しかしある程度競争しても輸出しないといけないからね。

【森吉】土地が向うは安いといいますが、それに電力も安いとい

石州瓦は、全国シェア一二%占めています。あと大きい所は、名古屋・淡路ですね、特に淡路は九州方面へも出荷するようになってきていますが、少しづつ限界にきているように聞いています。

【岩崎】私しも同感です。しかし現実的に見ると国内産よりも、外国産が安く輸入出来るという事で、木材業界も今大変な時期だと思います。

【奥野】世界に、いたみ分けをしないとけない時代になっているんですね。

【渡辺】本日は、お忙がしいところ御協力賜りありがとうございます。



虫の被害が大変ですよ。我々は後世に緑々とした山を残したい

【渡辺】これからの企業はどう

企業の国際化時代

【奥野】今の日本の企業は大事な時期にきています。私共のように、物を造って売るとなると先の先を考えないとうまくいきません。

【渡辺】本日は、お忙がしいところ御協力賜りありがとうございます。

経済の現状と経営雑感

島根中央信用金庫

理事長 奥野昌平



大田遯摩法人会の皆様には、信用金庫が平素格別のご愛顧を賜り有難く心から厚くお礼申し上げます。

さて、昭和六十一年は円高と貿易摩擦で始まり、早や半年も過ぎてしまいました。経済の現状は、昨年九月以来の円高の進展により、国内景気は減速感を強めております。

先般発表された今年一～三ヶ月の実質経済成長率は前期比（昨年十月～十二月比）〇・五％減となり、五月一～三ヶ月以来のマイナス成長となりました。輸出が前期比四・九％減となったことに加え、民間設備投資も同〇・三％増にとどまり、円高のデフレ的影響が輸出減を通じて企業の設

備投資にも及んだ形となりました。

本来なれば、円高と原油安は、わが国経済にとってかなりのメリットが期待されるはずであります。円高による輸入品価格の低下と原油価格の下落は、家計・企業・政府のすべてにとつて決済資金が少なくて済み、実質的には購買力の増加を意味し、国内景気にはプラス要因に働くことになりました。

今年度の場合、円高・原油安に伴う実質購買力の増加は、輸出価格の低下を考慮に入れば三兆円を上まわり、いわば、これだけの規模の減税をわが国は海外から受けたことと同じ結果となります。

しかし、円高・原油安のデメリットもまた大きく、輸出の減少が企業収益、設備投資にマイナスに働くことは勿論のこと輸入が増加すれば国内の輸入品との競合産業の生産も圧迫されてしまっています。原油価格の下落にしても産油国向け輸出の減少が国内経済にはデフレ的影響を及ぼしてくるのであります。

従って、現状では円高・原油安の効果はデメリットがメリットに勝ち、景気は後退局面に入っております。物価下落による実質所得拡大が経済全体をうるおす迄には、あと半年程度余裕を見なければならぬようにです。

昭和六十一年度は、円高のデフレ効果が強く現われるために経済成長率は、二・五％と昨年度の四・二％を大きく下回る公算が大のようです。成長率低下の主な因は、輸出と民間設備投資であり、輸出は円高・米国景気の停滞、産油国の輸入

カットの下で、実質ベースで前年度比五・七％減と八年ぶりのマイナスが予測されております。民間設備投資は、非製造業では電力・ガス・建設・不動産、卸・小売などの業種では高い伸びが計画されており、堅調な動きが予想されるものの、製造業では収益悪化と稼働率低下から前年度を下回る模様です。全産業では実質前年度比五・一％増と予想され、前年度の一二・六％増に比し伸び率は半減する見通しのようです。

一方、個人消費は実質三・四％増、住宅投資は同四・〇％増と、ともに昨年より若干伸びが高まるようです。これは円高・原油安から消費者物価の鎮静がさらに進み、実質可処分所得の拡大が予想されるためです。しかし、全体としては景気の下支えをするにとどまり、景気回復のリード役はまだにはなれないことは否めないようであります。

当面の政策課題は、選挙

後に予想される補正予算に加えて、いかに円高・原油安のメリットを速かに顕在化させるかにかかっております。この点で、六月よりの電力・ガス料金の引下げは、差益の消費者への還元の重要な第一歩と言えます。せっかくの円高・原油安のメリットが経済全体のなかの一握りの部分に集中してしまつては、内需拡大に結びつけることは難しいようです。輸入コストの低下を最終需要段階にまで反映させる物価政策が強く要請されます。以上は「野村総研」の「円高・原油安とわが国経済」という経済記事を援用して全国ベースでの経済状況を記述しました。

先般、当金庫で調査した四月～六月期の石東地区（江津市の一部を含む）の中小企業の景況は、前年同期と比較しますと、建設業・卸売業の業況に後退感が強くみられ、特に建設業の土木工事業において、県西部を中心とする災害復旧工事完

了に伴う事業量の減少を主因として大きく後退しました。そうした中で製造業は、調査先に輸出関連企業がないうことから、直接的な円高の影響はみられず、業種別では繊維製品の活況、食品・粘土瓦の横這い、木材・木製品・コンクリート二次製品・砂製品の停滞とバラツキがみられますが、総じて景気は横這い気味に推移しました。小売業は、食品・家電が比較的順調な推移をみせた以外は軒並みダウンとなりましたが、小幅の落ち込みで商況はやや持ち直し傾向がみられました。また、サービス業は自動車整備業をはじめとして、盛り上がり感の乏しい業況となっております。

の予想されております。以上のような経済環境下であって、円高不況をまともに受けている輸出関連産業は、大企業・中小企業ともに生き残りをかけて目下為替レート一六〇円台で輸出採算がとれるように、知恵を出し、汗を流して必死に経営の合理化に努力しております。即ち、ヒト・モノ・カネの効率的な活用、減量経営、原材料・部品の輸入または海外生産等々コスト引下げの為に血の滲むような努力を続けており、またどう考えてもコスト低下がそこまで出来ない企業は業種転換に踏み切っております。

あつて、国・地方公共団体の財政支出はここ数年来横這い乃至減少傾向にあるため、当地方の経済はどうしても停滞気味に推移しており、今後とも概ねこのような状態が続くと思われまふ。そのために企業の体質は総じて悪化しており、赤字体質の企業が増加傾向にあることは否めません。

赤字体質の企業を分析してみますと、販売競争の激化等により売上総利益率（荒利）が年々低下し、一般管理販売費を支払った営業利益段階で既に赤字となり、これに支払金利を加えたものがまるまる赤字となつていく企業が顕在化しつつあります。こういう赤字経営が数年続けば、そのような企業は近い将来どういうことになるか自明の理であります。そしてまた、このような企業に限って売上重視・利益軽視の経営を行つており、会社の幹部に財務に優れ、そしてその財務内容をトップに直言するような人

材がいけないことも共通しているように見受けられます。（いくら直言してもこのことが理解できないようなトップでも困ります。）さらにこのような企業は、赤字体質になつているために借入金が増加し、その金額が月商の六ヶ月以上にも達し、既に借金の限界を超えている場合が多いことも指摘できます。（もつとも荒利益率の非常に高い企業は、この程度でもやつてゆける場合もありますが）円高・原油安が定着してくると物価は沈静化し、力ネの値打ちが出てきます。反面、借入金の返済はインフレ時代と異なり難しくなることが考えられます。私どもは、戦後四十年インフレ時代に育ち、インフレ時代の思考が頭から抜け切れません。インフレで育つた頭を切替えて、量から質への経営に速かに転換すべきではないかと考えます。最後にになりましたが、企業を大きくすることは比較的易しいが、企業を縮小することは経営者にとつては非常に苦しいことであり、勇気ある決断が必要であります。先に申し述べました赤字体質から脱却するためには、荒利を引上げるか、経費や金利を縮減する方法しかないと思います。前者が困難であれば後者を選択する方法しかありません。そのためには、ヒト・モノ・カネの使い方一つ宛メスをいれ、思い切った経営の合理化を行なうことが必要と考えます。この場合、とかく地方では面子（メンツ）にこだわりがちですが、企業が生き残るためには、そんなことに躊躇することなく勇気をもって実行することが肝要と思ひます。

後段にいたり私の思つてゐることを卒直に申し述べさせていただき、失礼になる点、あるいは考えが間違つている点もあろうかと存じます。何卒ご寛容の程をお願いいたします。

非違事例

PART X

昭和六十年七月以降の税務調査の結果、次のような非違事例がありました。

一、売上の非違事例

- イ、売上代金の一部を除外し、数十口に及ぶ仮名、借名の定期預金を設定していた事例
- ロ、売上代金の一部を除外し、その資金を美術品の購入や、住宅の取得資金にしていた事例
- ハ、得意先に使うリベートを移出する為、偶発取引による収入を除外していた事例
- ニ、同族法人の運転資金を作る為、売上除外を行っていた事例

三、たな卸の非違事例

- イ、利益調整をする為、店舗の一面及び、倉庫の商品を除外して、棚卸を行っていた事例
- ロ、期末仕掛品の在高計算する時、製造間接費や、労務費の配賦計算が行われていなかった事例

四、経費の非違事例

- イ、得意先の接待と称して、風俗営業を行う店舗等で、遊んでいた事例
- ロ、自分の生活費（スパー）での買い物代金

五、源泉所得税の非違事例

- イ、従業員の昼食代に対して源泉徴収が行われていなかった事例
- ロ、建築士等の報酬に対する源泉徴収が行われていなかった事例

ていた事例

- ロ、取引先所有の機械を購入し、その代金を外注費に仮装していた事例
- ハ、同業者から資金の融通をたのまれた法人は同業者に外注工事の請求書を作成させ、貸付金を外注費に仮装していた事例

や、自分が私用で使う

- 外国車の燃料費を、消耗品費等の名目で、法人の費用に仮装していた事例
- ハ、代表者の息子（他社の代表者）に対し、当社の従業員の如く、低廉な価格で、住宅を貸していた事例
- ニ、個人所有の倉庫等の修繕費を法人の経費として処理していた事例
- ホ、資本的支出となるべき費用が修繕費とされていた事例
- ヘ、未購入の消耗品を期中に購入したかの如く仮装（購入先に納品書請求書を作らせ）し、当期中の費用としていた事例

マイホームと税

住宅ローン等を利用してマイホームを取得した場合、一定金額が三年間にわたり、所得税額から控除されます。また、マイホームの取得資金を父母等からもらっても、その額が三〇〇万円以下の場合には増与税はかかりません。一方、マイホームを取得したときには登録免許税や、不動産取得税がかかります。

所得税の軽減

住宅取得控除制度が改正され、住宅ローン等を利用して自分で住むための住宅を新築したり、購入したりしたときは、入居した年から三年間、住宅ローン等の年末残高を基に計算した一定金額が住宅取得特別控除として所得税額から控除されることになりました。

控除額の計算

控除額は、住宅ローン等の元本のうち、住宅部分の年末残高を基にして計算します。

控除対象 借入金 の額	住宅ローン等の年末残高 (年末残高が2,000万円を超える場合は2,000万円)
控除額	(民間住宅ローン等の年末残高+ 公的住宅ローン等の年末残高× $\frac{1}{2}$) ×1% (100円未満の端数切捨て)



注 公的住宅ローン等とは住宅金融公庫などからの借入金、住宅・都市整備公団などから購入した場合の借入金をいいます。

企業訪問

わが社の履歷書

有限会社 小林造船所

代表取締役 小林 博 通



(資本金 二千五百万円)
(従業員 六十二名)

弊社の前身である「枋屋造船所」は明治二年小林増十が通摩郡大濱村（現通摩郡温泉津町温泉津大字小浜）に創業し、爾來百二十年にわたり、造船業を主とし現在山陰地区でも老舗の造船所として今日にいたっています。

明治十年小林富士事業継承 明治の中ごろまでは五百石から千石積みの帆船（北前航路の千石船）を主として建造しており、明治二十八年小林富太郎事業継承後明治二十九年新技術の導入により西洋型帆船の建造を開始する。当時の総トン数で百二十屯程度の当時とし

ては新しい船型の帆船であった。当時の海運局の船舶原簿の一部が現在境支局に保存されており、明治二十九年頃から明治後期頃までの鳥取、島根両県で建造された帆船の詳細記録がある。

その船舶原簿の中には温泉津の同船問屋所有の帆船も十数隻あり建造者名も記載されていて当時の造船所の様子がうかがえます。

大正にはいり一部木造漁船の建造も開始し、地元漁船を始め近隣の底曳き漁船等を建造、昭和にはいり漁船、運搬船の建造が主となり、また帆船は姿を消し汽船の時代に移りました。



昭和十二年一月小林善作 事業を継承。

戦時における軍の計画造船が行われる中、昭和十八年四月持来の経営近代化にそなえ個人事業から法人組織に改組し「有限会社小林造船所」を設立。以後顧客の信頼により一層応える為設備の近代化を進めると共に併せて事業の多角化を計るため製材工場の建設や運送事業への進出を展開し経営基盤の安定化を計ったのである。

製材工場では造船用材の製材加工から一般建築用材の製材加工までチップの生産、二次製品の加工販売を効率良く生産して独立事業部門として昭和四十二年の製材工場が火災により全焼するまで当社の一翼を担っておりました。

昭和三十八年十二月には従来の木造造船工場を解体し鉄骨平屋建造船工場に改築し併せてホイストクレーン（3トン）2基 新設。

昭和四十年事務所及び鉄工場を解体し一部二階建の製缶工場と事務所に改築。昭和四十一年漁船の鋼船化にともない当社も第一船目の鋼船を進水いたしました。「鋼船建造」への切り換えはかなりの決断がいろいろありました。

も未熟で不十分であったため竣工までには随分と苦勞もありましたが結果的にはこの決断と努力が実って、第一船のわりには船主の評判もよく次第に鋼船の受注も増えてきました。

昭和四十四年鋼船工場としての設備の拡充は不可欠となり既存の造船工場のかさあげ工事（5m）並びに延長工事と併せて天井走行クレーン（5トン）2基を新設し建造設備を整えるとともに現業工の養成にも力を入れました。

この設備が完成した前後頃より木造船から鋼船への切り換えによる建造需要が増加し島根県、兵庫県、鳥取県を中心に受注が増えたことは当社にとって大きく幸いをしました。 当時は五十九屯型の沖合底曳網兼いか釣漁船と浜田港の二隻底曳き網漁船を主に年間八隻から十一隻程度建造していましたが昭和四十八年の第一次オイルショック後二年間は受注量が減

少し特に五十年の建造隻数は五度に留まりました。

このような状況の中将来を展望し工場の生産合理化のため昭和四十九年九月より造船工場に隣接した木工場造機工場、原図場等工場全体の約半分にあたる建物を解体し、鉄骨造り一部二階建の内業工場（一、三二八㎡）に改築し工場全体の生産工程の合理化とともに環境改善を行った。

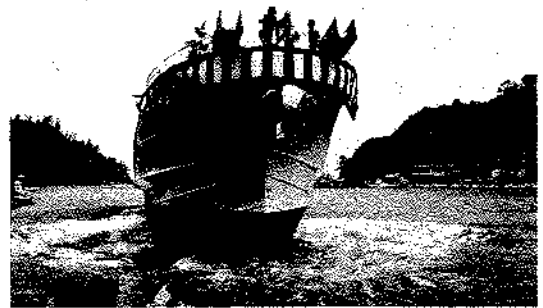
昭和五十年一月竣工、新工場の竣工により従業員の士気も高まり生産性が上がったことは予期せぬ誤算であった。オイルショックの中厳しい経済情勢下であったがインフレ状況の中で魚価の値上がりと漁獲量の増加等に加えて船令も代船建造時期にきていたことや資材の価格も安定化してきたことなどから昭和五十年の中頃から翌年度の主に浜田地区の底曳き漁船を中心に建造の引き合いが活発になり、建造船が増え一時期は建造ブームの状態が五十

一年から五十四年まで続きました。当時第一次オイルショックの影響により全国大中の造船所が深刻な不況で倒産企業が続出する中、

幸にもこうした受注に支えられ新工場建設の大きな設備投資を行った直後であっただけに大変助かりましたがそのうち五十一、五十二年六月病氣療養中で病床にいた社長、善作が亡くなりましたので私が代表取締役社長として事業を継承することになりました。

五十二年十一月切断工程の合理化と機関の大型化にもなつて自動形切断機（アイトレーサー）の導入、最大吊り過重十五トンの天井走行クレーンの新設等、生産設備の機械化を進めるとともに五十四年二月資本の充実と新規の設備投資に備えて資本金を一千二百万円に増資しました。

同年十月進水船台を全面拡張改修し建造船の大型化



に備えました。

また、五十五年三月事務部門のOA化のためオフイスコンピュータを導入し経理、資材、労務の電算化を進め原価管理を徹底し、時代の変化に即応できる体制づくりに力を入れました。五十六年四月艀装工事の効率を高める為、艀装専用棧橋（長さ六十m、幅五m）を建設し進水後の作業の効率を良くした事は工数の削減につながりまたあわせて作業の安全を確保すること

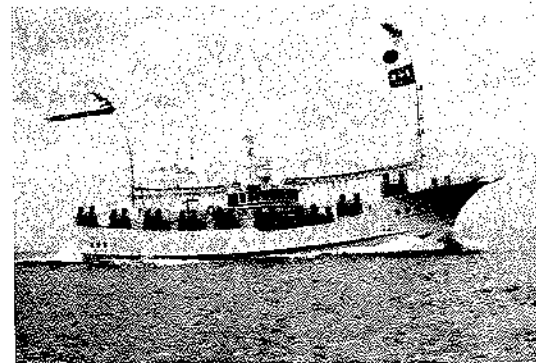
になりました。

一応の設備改善投資も終え工場全体の環境は改善されましたが今度は燃料油と漁獲不振により建造需要の方が減少し新規の受注を確保するのに苦労することになりました。

幸い今までの建造実績により下関地区では新規の船主からまた兵庫県、鳥取県でも新規の船主や従来の顧客から発注を頂きながら、年間七隻から八隻と現在の状況の中においては比較的安定した建造隻数でここ五年の間推移しています。

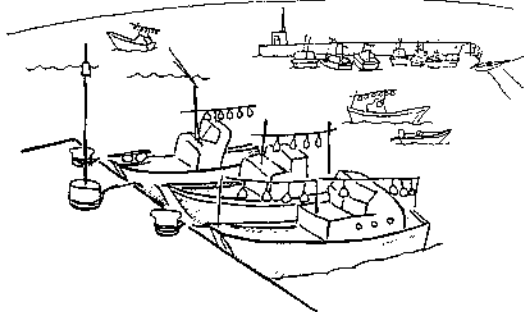
この間、昭和五十七年には初めての軽合金製の小型底曳き網漁船（長さ十七m）を建造したが海運局の検査規則も確立していない中で建造には大変苦労しました。今後はこうした軽合金製の船舶の需要が増えて来るものと思えます。

昨今の造船業界の状況は円高により極めて



深刻な不況下にあります。私共のような小型造船所においても一部の漁船メーカーを除いて、それは全く同じ状態であり、このような時期にこそ当社の経営方針である「安全性が高く船主が信頼して操業のできる船を、適性価格で提供すること」を今まで以上に従業員共々実践していかねばならないと考えています。今後とも皆様方の御指導と御鞭撻の程宜しくお願いいたします。

大田市海岸



ふるやらの最寄り浜

その二

好地でもある。
ではこれから海岸のご案内を致しますよう。
大田市駅から東へ六・五km向うと波根海岸に着く、赤い灯台の立つ防波堤の先から見る立神岩は高さ四七m。断崖絶壁でその岩肌の縞模様が青い海に映えて雄大な景観をつくり出している。港の西側は砂浜で旅館も七件有り、夏は海水浴客でにぎわう。

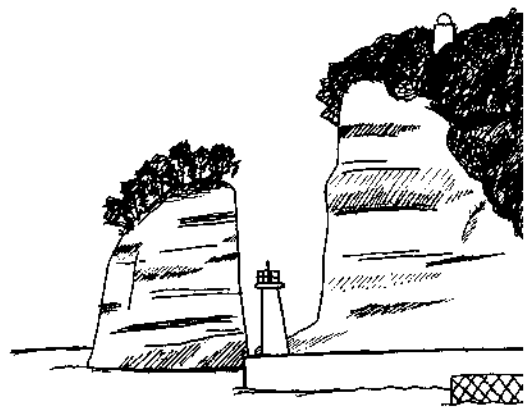
東西二三kmに及ぶ大田市海岸は、海の青さ、白砂青松の浜、日本の荒波に浸蝕された断崖奇岩と、変化に富んでいる。また、海岸のあちこちに見られる大小の岩礁はマグイ、イシダイなど大物釣りの絶

ここから旧国道を西へ一・七km余り引かえし踏切を渡ると突然山が切れ青い海に一本松が奇岩に美しく立っているのが掛戸松島である。この松島は夏の夜ともなれば、月と漁火にその美しい姿がぼかりと浮び、夕日に映える奇岩とも云われる。
さらに西へ六〇〇m行き、三叉路を右に折れ踏切を渡って右手の野道を五〇〇mほど歩くと急な崖となつて眼下に日本海が開ける。更にはやや急峻な崖つたいの小道を二〇〇mほど下つたところに国の天然記念物に指定されている陸化

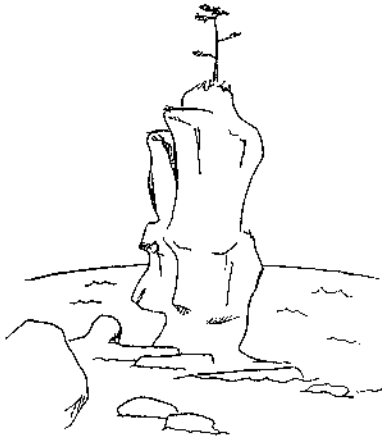


木が海中から突き出ている。同じ道を県道まで戻り、海岸沿いの県道を西へ一・五kmほど行くと海が消え山あいへ。一kmほどで松林は終ると約一kmにわたる弓なりの砂浜海岸が見えてくる。ここがシーズンには海水浴、キャンプ、臨海学校等ににぎわう鳥井、笠ヶ鼻海水浴場である。
潮の香りをかきながら三kmほど行くと静間小学校前が出る。ここから右手のゆるやかな坂道を八〇〇mほど上ると右手下に近藤ヶ浜が見えてくる。この浜には、ハマナスの群生地があり、自生西限地として県の天然記念物に指定されている。

海を眼下に、崖上の道を七〇〇m行き魚津の集落を抜けると石積み防波堤のある小さな舟着き場に出る。この西はずれの岩山に、古代への夢を誘う静之窟がある。窟の守護神であるかのようなライオンの姿に似た奇岩もあり、こ



の付近一帯は、神秘的な雰囲気がある。
県道をさらに三三〇m西へ行くと国道九号線に出る。ここから西へ三・五kmで五十猛町へ入る。大浦東口停留所から海岸へ向う市道を五〇〇mばかり行くと勇壮なワニザメ漁で有名な大浦港に出る。
この港の東にある岬が大崎鼻である。この高台に登ると、目の前に青く輝く日本海が広がり、西は仁摩町宅野沖の韓島、東は日御崎まで望まれ、神話の舞台となったことがうなづかれる。
▼立神岩
波根港から望む東海岸は三〇m



の断崖が切り立っている。更に一〇〇m沖へ出ると海中に烏帽子に似た烏帽子岩四七mの奇岩がある。そして立神岩の下も東側に洞穴が連る。洞穴は西口穴から入り、数十m舟行し東の穴に出る。俗に通り穴という。内には何方とも知らないコウモリが住いし、実に神秘的である。夏ともなれば遊覧船で洞穴巡りが楽しめる。

▼掛戸松島

日本海岸の真ただ中に掛戸松島がある。掛戸は断崖の島。鎌倉末期、波根西村の郷土有馬治郎左衛門が七年の歳月をかけて開削した伝説地。古来文人墨客が足を止めて絵画、詩歌を楽しむ名所となった。明治四〇年五月二十八日、大正天皇が皇太子のとき、山陰道を行啓され御高覧、昭和九年には高松

宮御夫妻が記念撮影された。松島頂上の黒松は今二代目になる。

青い海にきつ立する掛戸松島は、国立公園三瓶山と共に大田市の名勝地として名高い。

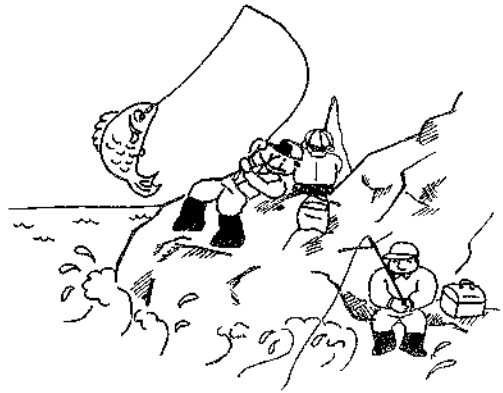
▼珪化木

波根西海岸にある机島を中心に東西と北方の島三〇ヘクタールが珪化木の指定地になっている。

▼珪化木は、第三紀(約二、〇〇〇万年前)に火山噴出物のため押し流された樹木が埋没して珪化したもので、なかでも大きいものは、岩場から日本海に突き刺った感じで、長さ六・七m、周囲が一・七m×二・二mもあるブナの珪化木が見事だ。国指定の天然記念物になっている。

▼静之窟

静間町魚津の西海岸に大きな洞穴がある。入口は二穴になり間口一〇m×一三m、高さ一六・二m、奥行三七・八mの大洞窟である。出雲神話によると、大己貴命(大國主命)と少彦名命がこの洞窟で国造りの策を巡らせた所と伝えられる。洞内には出雲大社宮司、千家尊福の筆跡で「大汝少彦名のい



ましけむ、志都之石室は幾代経ぬらむ」と刻字されている。

奥へ入ると潮騒とウミネコの声、が反響して訪れる人々に古代の夢を語ってくれる。

▼近藤ヶ浜のハマナス群

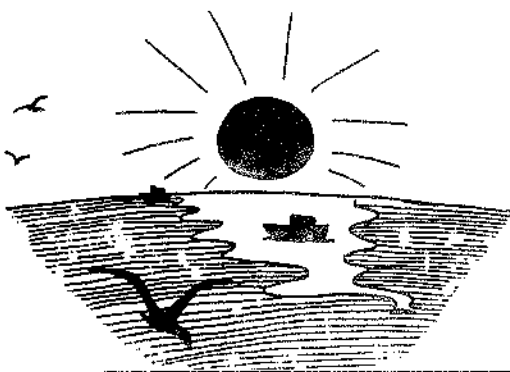
ハマナス群は、日本海岸における自生西限地である。ハマナスは我が国では北海道から東北、関東北部、北陸および山陰に自生している。古来、鑑賞用、食用、薬用、染料用、香水用として庭園や花壇に植えられてきた。ハマナスはバラ科の植物で茎には刺があり、花は紅色である。九月には小さな紅い実を付け天然記念物として、県

指定となっている。

▼大浦港

江戸時代は石見銀山領の廻米を運搬する石東の良港であった。

この港には当時からワニサメ(フカ)漁が盛んで、遠く芸州広島方面まで運んで行ったという。今でも六月になるとワニのハエナワ船が出漁する。この地方の人たちは、ワニのいり鍋や刺身を好物にしており、フカヒレは高級料理である。港の先端は大崎鼻で、万葉の歌人、柿本人麻呂の伝説地である。ここから望む五十猛海岸はすばらしく、遠く三瓶山が望まれる。



三婦人部合同講演会

「心のふれ合う
接客サービス」

講師 日本航空客室訓練部
教官 中 出 容 子先生

恒例になりつゝある、三婦人部(法人・青中・納野)合同主催による、春の講演会を今年は三月五日商工会議所に於て開催した。

若い女性が一度はあこがれる職業であるスチュワーデス。今回はそのキリツとした制服で、実技を伴った講演とあって、聴講者は超満員の盛況ぶりであった。同じ女性の講師であった昨年にくらべて、はるかに男性の聴講者が多かったのは講師先生の職業のせいなのか、ともあれ、うれしい傾向である。

接客に際しての心構えは事ある毎に聞かされている私達ではあるが、現場の教



接客のポイント

1 先づ表情(笑顔)

視線に表情を、相手の目もと、口もとをにこやかにとらえる即ち目もと十口もと十心を温く組み合わせる。

2 挨拶

一言を私の方から先にかける(明るく)最初の十秒で相手の心をとらえる。おじぎ(実技)背すじをのびし胸をはる。

3 言葉づかい

- 明るく、やさしく、美しく。
- 相手に恥をかかせない
- 言葉づかいは心づかい
- 専門語は解らない人には使わない。
- 語尾はみじかく切るときれいに聞こえる。
- もう一こと言葉を添える、主語をきちんと。
- 4 身だしなみ
清潔感、ひかえ目、ポケットには何も入れないでスッキリと。
- 5 態度
背||背すじを直す
目||角々まで目くばり
手||指をそろえる
足||かかとをつける
服||きちんと
くせ||言葉のくせをなおす

おしらせ

天領さん

日時 八月二日・三日

内容 (二日)

○オーブニングパレードにまこいせ祭り

(午後三時三十分)

○綱引き大会

○天領クイーンコンテスト

○天領さん踊りパレード

○天領・ザ・チャンス

○弓道大会

(三日)

○ふる里芸能大会

(午前十一時より)

○森田健作ショー

午後○時と三時の一回

○カラオケ大会

○代官行列

(午後四時出発)

○石見銀山天領太鼓

○飛脚駅伝

○バレーボール大会

○天領杯囲碁大会

○乗り放題切符

(国鉄コーナー)

○花火大会等々

(久手港)



日時 七月十六日・十七日

内容 (二十六日)

○オーブニングセレモニー

(午後一時仁方漁港)

○ミスしおさいクイーン

○カラオケ大会

○打上花火

(二十七日)

○朝市(午前八時)

(仁方運動広場)

○スポーツ大会

○郷土芸能等々

温泉津温泉夏祭り

日時 八月七日(木)

場所 温泉津港周辺

内容

○漁火行進

(午後七時三十分)

○花火大会(午後八時)

○青空市場

○カラオケ大会

質問 手帖

【質問】積立ファミリー交通傷害保険に加入しましたが、保険料、保険金等の経理はどの様にしたら宜しいでしょうか。

【回答】損害保険契約の中でも、最近では満期返戻金のある保険が好評のようです。○預金金利が低くなったこともあって何とか有利に資金を運用しようとする。○信販会社を利用して、掛金の立替払が認められていること。

○満期時の払戻金の範囲内で、融資も受けられること。○配当率も良いこと、等から人気を呼んでいるようでもあります。そこで、今回は契約者が法人である積立損害保険契約に関する保険料満期返戻金、保険事故発生時の保険金等の税務上の取扱いについて述べて見たいと思います。

(一) 保険料を払込んだ場合

① 積立交通障害保険
法人が従業員を被保険者として保険料を払込んだ場合の経理方法は次のとおりです。

④ 積立保険料部分(積立運用分)：資産に計上……満期返戻金は契約者である法人に支払われることになっていきますから、保険料のうち、積立保険料部分は保険積立金等の科目で資産に計上します。

⑦ 損害保険料部分(掛け捨て部分)：損金算入……保険金受取人が法人の場合には損害保険料の科目で又保険金受取人が従業員の場合は福利厚生費として、保険期間の経過に応じて損金として処理します。

② 長期総合保険
長期の火災保険料等を支払った場合も、積立保険料部分は資産に計上し、損害保険料部分は損金として処理します。高、保険料の区分計算はチラシに記載されています。

(二) 信販等から借入して一時払保険料を支払った場合

③ 長期総合保険や積立ファミリー交傷等保険料の払込み方法として、一時払保険料相当額を契約者が信販会社から借入し、これを保険会社へ払込み、あと分割してこの借入金返済すると云うケースがあります。この場合は信販からの借入金として処理します。又、支払利息については計算期間の経過に応じて損金として、処理します。

(二) 満期返戻金受取りの場合
法人が満期返戻金と契約者配当金を受取った場合は益金となります。一方既に支払った保険料のうち資産に計上している積立保険料部分の全額を損金に算入します。従って結果的には満期返戻金と契約者配当金の合計額から積立保険料の金額を差引いた金額(積立保険料の運用益相当額)が課税対象となります。

(三) 保険事故発生の場合

① 交通障害保険
死亡保険金の受取りが法人の場合は、受取る保険金は法人の益金に算入し受取人が従業員の遺族の相続人が受取った場合はみなし相続財産として相続税が課税されます。

② 長期総合保険
法人が火災事故等の発生により保険金の支払いを受けた場合には、その保険金の額を益金に算入します。高受取保険金をもって同一種類の固定資産を取得した場合は圧縮記帳の制度があります。

③ 積立保険料の損金算入
前記①②の場合でも引続き契約が継続している場合は積立保険料を損金に算入することは出来ませんが、保険期間の満了、解除、失効の場合は損金に算入します。
以上損保関係について概説しましたが不況の折、経費節減も含め御研究頂ければと思います。(渡辺税理士)

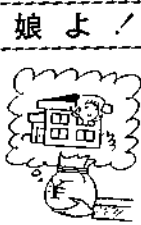
税の「ほれ話」

新婚間もない娘夫婦が実家に遊びにきて、

娘「私たち、今は社宅住まいだけど、できるだけ早く自宅を持ちたいの。お父さん、応援して。」

婿「会社の融資とローンそれに不足分をお願いしたいと思ってます」

父「いくら出せばいいんだい？」



娘「三〇〇万円私に出して」

父「お前に？ダメ。浪費癖があるからキミにあげるよ」

婿「それは困るんです。親子間の住宅資金贈与の特例で、実の子や孫がもらえば贈与税がかからないけど」

ボクだとかかつちやう」

父「ウーン、考えさせてくれ」

天領の秘話 ⑦

銀山の発見と山相秘録

石 村 禎 久

石見銀山発見伝説

石見銀山の由緒をしるした記録の中で、クライマックスの場面は、筑前博多の神屋寿貞が、日本海の沖から銀光を望み見て、銀山と直感し、開発の糸口をつかむ場面である。

文化十三年（一八一六）

銀山要集をまとめた銀山方



神屋寿貞が銀山を望見した韓島(中央) 付近の海上=左端は妻島

役人、大賀吉治の銀山日記から、そのドラマの部分で現代調で紹介してみよう

大永年閏、周防の大内義興が石見を支配しているとき、筑前の博多に神屋寿貞という人がいた。雲州の大社へ参拝しようとして、石見の沖を航海していると、遙か南の方向に見える山に、赫然（かくせん）とした光りが見えた。寿貞は船頭に

「山が明るく光っている。あの山はどこにあるのか」と聞きただすと

「あれですか、何でも石見の銀峰山（ぎんぶせん）だといって語り伝えていきます。昔は銀が出たということですが、今はそれも絶えて、清水寺と申すお寺に、

観世音菩薩の霊像だけがあって、山を守っていらつしやいます。観音さまの霊顯なのか、時々山が光ります。この夕方の靈光はふだんの日の十倍も明るく、再び銀が出るというめでたい知らせでしょうか。あなたは信心深い方のようにお見受けしました、あなたの心が観音さまに通じたのでしょうか」

という。喜んだ寿貞は帆を巻いて纜（ともづな）をつなぎ温泉津の港に入った。そして銀峰山を尋ねて観世音菩薩を拝み、再び船に乗って出雲の鷺浦の港に入った。鷺浦には銅山があった。寿貞は銅の取り引きのため銅山主の三島清右衛門に面会した。このときに石見の銀峰山の靈光のことを話したところ、清右衛門は、銀山とは余り遠くない、簸川郡口田儀村の人だったので、銀峰山についてくわしく

「それはきつと白銀です。今から二百年ほど前に、周

防の大内弘幸公が、北辰星のお告げであの山から、銀を沢山掘り出したということとです。今もその話しを伝えていきます。出来たらあの山に登って確かめ、ありがたい観世音菩薩にもお参りしたい」

と語った。

そこで寿貞と清右衛門は、大永六年（一五二六）三月二十三日、掘り子の吉田与右衛門、同藤左衛門、おべに孫右衛門と連れだつて銀峰山を目ざした、やがて銀峰山の谷々で石を砕き、地を掘り銀を大いに見つけ、寿貞は九州へ帰つたが、

銀山の発見とともに、馬路の灘の古柳（こりゅう）輛（とも）ヶ岩の浦には銀をかう船がおびただしくやつて来て、銀鉱石を積んで帰り、寿貞の家は益々栄えて繁盛した。銀山にも諸国の人々が雲のように集つてきてにぎわいを見せ、まるで花の都のようになった。

山相秘録

神屋寿貞が、石見銀山の

北側の峰を望見した場所は、一体どのあたりだろう。石見の海から、銀山が南面出来るところといったら、仁摩町宅野の沖、韓島の付近しか考えられない。ここは南緯一三度二三分、北緯三五度一〇分、銀山までの直線距離は八^キくらいあるだろうか。

寿貞の目に映じたのは、仙の山（五三七^シ）の三百^シばかり上にあたり「石銀」（いしがね）とか「本谷」と呼ばれる地帯になる。

人間には人相や骨相があるように、山にも山相がある。

江戸時代後期の秋田藩の農学者、佐藤信淵があらわした「鉾山学集」の内の「山相秘録」には

「山相を見ようとすれば、峰を真北の方向から、つまり山に南面して見るのがきまりだ」

と書いてある。これは寿貞が銀山を望見した位置と一致してくるのが面白い。

山相秘録はさらに

「山の南側はいつも直射日光を受けているので山の精気が失われている。反対側の北面は幽微な精気がこもっていて、その精気が立ちのぼっている」

としるしている。

幽微な精気とは、山相用語では「霞光」（かこう）とか「瑞霧」（ずいあい）と呼ばれ、霊光となって立ちのぼる。精気のあらわれる状態については、その鉱山が銀山だった場合は

「龍のような精気は蒼白色であり、初めは煙りが発生するように見えたかと思うと、あつという間に、雲へ向って昇龍の形となり、およそ六十層ほどの上空で、幻影のように散ってしまう。時によっては精気が初めに音を出すこともある」という。

山相の遠見については、二十町（二・二⁺）くらいまでの地点から見なければならぬといっている。韓島と銀山とは、離れ過ぎていますが、この日は大気がよ

ほど澄んでいたのか、あるいは精気が強烈だったのか。

山相の見方について、「中夜望気の法」では、時刻は真夜中の十二時（子の刻）であつて、月のない、北風の吹かない夜に限るとされて

いて、寿貞が見た、夕方という時間帯は、条件が悪いが、この日の夕方の霧囲気が薄暗くて北風が吹かず、真夜中の気とよく似ていたのかもしれない。

寿貞が銀山を眺めたときの場面を想像してみると、おおかた神気をこらし、山相の技術にのつとつて、遠見の法、望気の法のさだめに従い見定めたのだらう。寿貞は航海をしながら、絶えず、すぐれた鉱山の発見に努めていたとも考えられる。

福石鉱床と神屋寿貞

石見銀山とともに、よく知られている佐渡金山、生野銀山、甲州の黒川金山なども、いずれも山の北側から鉱石の埋蔵を発見されて

いることも興味が深い。ところで神屋寿貞は、銀の精気が立ちのぼっていた

「石銀」と「本谷」の地域から開鉱の手をつけた。寿貞が開山にあたってご守護を祈った清水寺は、石銀の谷にあるので、この開発があつて以来「石銀清水谷」とい

しがねしみずだに」と呼ぶようになった。石銀清水谷は、山吹山の向う側、今の安養寺の近くの谷をのぼつたところであり、ここが銀山開発の歴史的なスタートの地となつた。

石見銀山の鉱床群は、大ざっぱにわけると「福石鉱床型」と「永久鉱床型」の二つになつている。石銀清水谷は豊富を「福石」を埋蔵している。

福石鉱床の成因は

高温の熱水か、あるいはガス体が第三紀層の角礫（かくれき）部の岩石の、割れ目に吹き出し、それが冷たくなる間に、熱水に含まれていた成分が鉱石や鉱脈となつて鉱床をつくつたも

ので、自然銀、方鉛鉱、黄鉛鉱、黄鉄鉱などで構成されている。

銀山要集には福石について「鍾（くさり）鉱石」は

「鍾（つる）脈（脈）筋にあるものにて有之候、この福石に限り鉱筋によらず石中に有之、銀氣中品の鍾に御座候」

とあり、つまり脈脈をなしておらず、卵形の鉱石層が地中に散らばつていてという意味である。これは地質が形成されたとき、鉱石の液が玉のように吹きあげて、地中に福石層のグループが、およそ八万五千平方メートルにわたつて、花火のようにはさまつていてということであらうか。

寿貞は生まれてはじめて目にした雄大な、ユニークな鉱床を、わが国で精錬することと、これを生かす方法を考え、入山して六年目に南朝鮮から慶寿という吹師を招き「灰吹法」により画期的な銀生産に入つた。

由来記の諸本

石見銀山の由来をまとめた文書には「おべに孫右衛門縁起」「丸山伝記」「石見銀山旧記」「石見銀山濫觴記」「清水寺縁越」「石陽水久記」「野沢字録」などと、さまざまにある。最初の原本をだれかが写本しやがて人から人へと写本が行われ、その間に誤記やフィクションが行われて、後世の史家をとまどわせるようなことになつていく。この中で銀山方役人の書いた「銀山旧記」や「野沢字録」が、筆者の鉱山知識や資料の扱い方により、一番いき届いているし、日本海から銀山を遠見する場面も、この二つの本が一番リアルである。

簸川郡大社町の鷲銅山は、明治以前の記録はブランだが、銀山旧記の記録が、はしなくも、大永年間（一五二〇—）に既に稼業が行われていたことを立証しているのは興味が深い。

いざという時

思いがけないけがをしたり、急に発作を起こして倒れたりしたときに、ただいたずらにあわてふためいてるだけでは、どうにもなりません。落ち着いて救急車を呼ぶなり、医師が来るまでに応急の処置をする善段からの心がけが必要です。ちよつとした救急法の知識が、その傷病を軽いものに止めたり、生命までも救うことがあるのです。

そこで、知っていれば大きな力となる救急法の基礎的な知識について紹介することにしましょう。

手当の基本

①患者の観察

○患者をよく観察し、話しかけ、直接ふれてみて脈拍の状態や熱があるかどうか、呼吸音をきく。

○大出血、意識、呼吸、脈拍、顔色を調べ、直ちに処置すべき傷病の患者であるかどうかを区別する。

○きず、出血、骨折、打撲、痛みなどの有無や状態、手足が動くか等、どんな場合でも全身をよくみて観察する。

観察のポイント

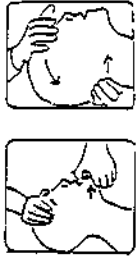
- 大出血してないか
- 気を失っていないか
- 呼吸をしているか
- 顔色、皮ふの色、皮ふの温度はどうか
- 手足は動かせるか

②患者のねかせかた

救急処置をするとき、救急車が来る間、患者は原則として水平にねかせる。意識があるとき、患者に聞きながら、最も楽な体位をとらせる。

※意識がないとき

窒息させないように、気道の確保をしてやる。まず頭を後ろにまげ、下あごを前に突き出した形をとらせる。



意識がなく、呼吸もできずに死亡する例の中にはこの氣道確保で助かることが多く救急法の手当の第一歩でもあり重要である。

③保温、加温

○本人の体温を保ち、寒がらせないようにする。
○必要に応じて加温することもあるが発汗させてはならない。

④飲物

○飲物は原則として与えない。特に意識がない者には絶対に与えてはならない。

○水分をとらせる必要のある場合は、日射病、熱射病、脱水症状、熱傷、蛇咬傷(まむしにかまれる)等がある。ただし少しずつ与えるようにする。

以上のことは、救急法の第一歩です。特別な知識や技術ではないのです。いざという時に備え、応急の手当を学び大切な生命を守りましょう。

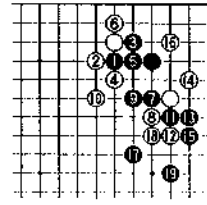
石の取り方

アシダ

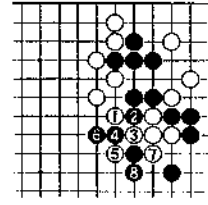
1 図 白の両カカリからの進行黒17の手は「アシダ」と呼ばれます。大きなゲタという意味です。白18には黒19とアシダを連発。

2 図 白がもがいても、ごらんのとおりです。アシダは一種のカケで、相手を封じ込めるときに活躍します。

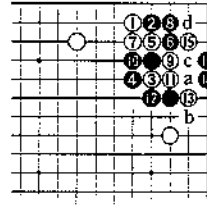
(1 図)



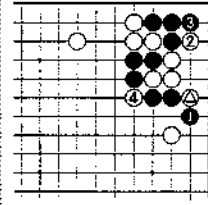
(2 図)



(1 図)



(2 図)



会員親睦ゴルフ大会開催

優勝 森

哲夫氏

(山陰合銀
久手支店)

大田遡摩法人会は、第五回会員親睦ゴルフ大会を、四月十二日(土)大社カントリックラブに於いて、新緑のもと晴天に恵まれ、五十八名の参加者を得て開催された。



球式、全員意気揚々とスタート。快い日ざしのもと、皆さん日頃の忙しさを忘れ、各組共、十数年来のゴルフ仲間のごとくプレーを楽しんだ。

昼食時には、皆それぞれスコアを見せ合い珍プレー、好プレーに談笑する光景が見られ、和気あいあいの内に午後の部へと移っていった。

この大会の目的である「会員同志の親睦」の輪が、より一層広がったようである。

表彰式

午後五時より同ロビーにおいて、表彰式が行われ、成績発表、表彰式と移っていった。

成績は次の通りです。

優勝 森 哲夫氏

準優勝 松田雅弘氏

三位 堀 恒夫氏

四位 小林栄治氏

五位 森野 勝氏

BG賞 小林栄治氏

NP賞 竹下武志氏

〃 永田 明氏

〃 大草源司氏

〃 林 則氏

〃 幸増行雄氏

〃 吉田 弘氏

DC賞 堀 恒夫氏

〃 川増南岳氏

〃 道下武寛氏

以上の表彰の外にも飛賞はじめ沢山の賞品が用意され、全員にもれなく贈られ、懇親会では今日のプレーに話はずみ、和やかでした。

優勝のよるこび(森氏)

「こんな大きな大会で優勝



したのは、初めてで感激いたしました。法人会の方々とは仕事柄親しい人も多く楽しくプレーさせて頂きました。金融の使命をもって奉仕すべく、日々がんばっております。今後共よろしくお願いたします。」

と頼もしい発言があり、次回の健闘を誓い合いながら散会した。

日韓親善協会!! 加入のご案内

この程、石東地区日韓親善協会(大田市・江津市・遡摩郡・邑智郡)を設立の運びとなり、会員

を募集中です。窓口は各商工会議所・商工会となっておりますから、振ってご加入下さい。

編集後記

県法連の広報委員会、専門家をお招きして、法人会報の編集についての、貴重なアドバイスを頂きました。

非常に参考になりましたが、実際に編集に当たると、原稿集めに追われて、検討する暇もなく、印刷に出すこと、なり、実務のむつかしさを、つくづく反省しています。

併しながら、追々と研修の成果をあげてゆき度いと考えています。

郷土御出身の先輩からの、「ふるさとへのアドバイス」も第二回目となりました。御多忙中の御協力に對しまして、心から感謝申し上げます。

末筆となりましたが、御寄稿賜りました方々、又編集に御参加いただきました諸兄に、厚く御礼申し上げます。次第であります。

(広報部 渡辺)

寿命がのびれば、保障ものびる。

長寿時代の経営をまもる大型保障



節税をはかり、企業経営の強化をはかる

法人会の

経営者大型総合保障制度

すぐれた特色

- 新規加入年齢は、75歳まで。
- 自動更新で最長85歳まで保障。
- 入院・手術・通院・休業保障をふくむ給付内容。
- 医療費のお支払いも安心。
- 地震・噴火など天災による事故も保障。

朗報

入院から看護まで……保障が充実!!

8日以上の病氣入院

(従来は20日以上の病氣入院)

看護給付金の新設

(事故・病氣入院中に、所定の付添看護者の看護を受けられたとき)

★4月2日より、保険料がさらに引き下げられ、より一層ご加入いただけやすくなりました。

引受会社

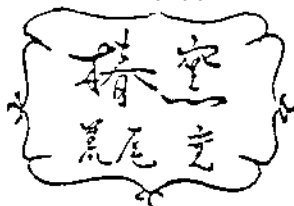
大同生命

AIU 保険会社

お問い合わせは……大田瀬摩法人会 ☎(08548) 2-0765

大同生命 ☎(08552) 2-5965

花器 茶器の店 温泉津窯元



邇摩郡温泉津町温泉津

☎ 08556(5)2022

総合建設業

有限
会社

堀工務店

☎699-22 大田市波根町665番地

TEL (08548) ⑤ 8151

㊦ 日本工業規格表示許可工場

三瓶生コン

株式
会社

代表取締役 俵 隆

大田市久利町行恒106-2

TEL (08548) ② 0252

—— 味ひとすじに30有余年 ——

ふぐ味餅干・ふぐ一夜干

登録
商標



和田珍味

大田市五十猛町 ☎ (08548) 7-0630(代)・FAX 7-0030

迅速をもつとくに
新畳、畳床、表がえ、裏がえし
すべて畳のことならご相談下さい

島根県大田市川合町

TEL 08548-2-2683

有線 427-16

(有)橋目製畳

代表取締役 橋目義信

書籍・雑誌・文房具・化粧品

有限
会社

森山文弘堂商店

代表取締役 森山成樹

〒699-23 邇摩郡仁摩町大字仁万町821番地1

TEL (08548) 8-2930



大田遡摩法人会会報 第11号

昭和61年7月17日発行

発行所 大田遡摩法人会

編集 広報委員会 委員長 渡辺常弘

大田市大田町 大田商工会議所内

TEL (08548) 2 - 0765

印刷 月橋印刷

大田市鳥井町 TEL 2 - 0540